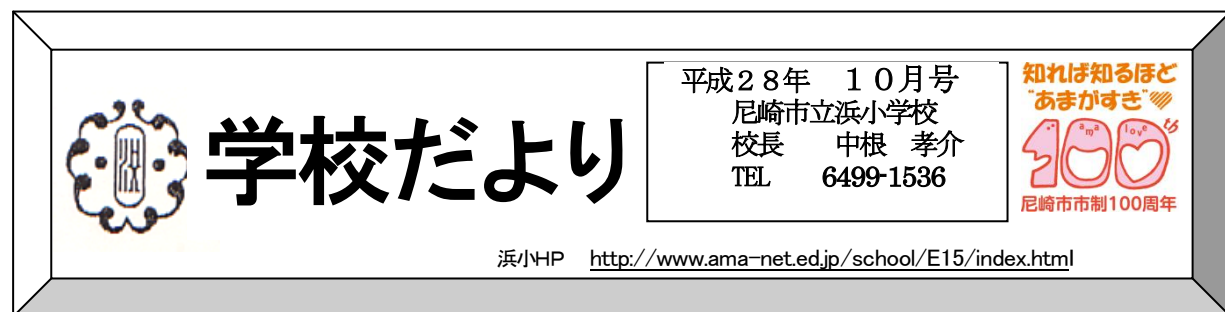
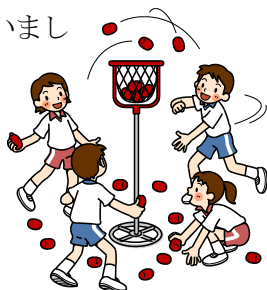




感動の体育大会！！～全力！結束！応援！～

先日は、体育大会に多数ご来校いただき、また、熱い声援をありがとうございました。「心を1つに！全力でやりきる浜っ子体育大会！！」のスローガン通り、子ども達がどの演技や競技も全力で、仲間と力を合わせて、課題に向かって挑戦することができたことは、本当に嬉しい限りです。応援団を中心とした「応援」も素晴らしかったです。浜っ子の底力と素晴らしさを見ることができ、胸を張って誇ることができる子ども達だと改めて感じました。



各演技、競技について少し感想を紹介します。まず徒競走とリレーです。どの子も目をキラキラ輝かせ最後まで全力の走りを見せてくれました。やはり、子ども達がひたむきに頑張っている姿を見ると、元気が湧いてきます。団競も各学年、工夫した競技、楽しい競技、力のこもった競技が続きました。そして表現と組体操です。

1年生「じゃじゃじゃ忍者 ～卒業試験の巻～」

元気いっぱいのかわいい忍者が登場して、たくさんのすごい忍者技も披露してくれました。一人一人の技とグループでの技が組み合わさり、工夫たっぷりでした。全員合格！免許皆伝！

2年生「魅せるZ！！ぼくらの100万ボルト」

去年のかわいさに力強さが加わりました。はじめの掛け声もばっちり！アップテンポの曲に合わせてたきれっきれっの動きが目立っていました。2年生の100万ボルトのパワーを見せてもらいました。

3年生「打ッ！！ドン！！」

本当に太鼓を打っているような動きで、みんなの息がぴったりと合っていました。細かい動きも抜群で、キラッキラッのばちの動きが輝いていました。本当にお祭りのような楽しさでした。

4年生「ウィーアー浜 flag team」

6色の大きな旗がはためく様子には、びっくりしました。隣の人とすれすれのところを旗が通り、大きな音を立てて、旗が舞っていたのには、ドキドキと心が躍りました。

5年生「浜っ子 YOSAKOI “百花繚乱”」

さすがは、浜の5年生です。颯爽とした姿と動きに、力強さとたくましさを感じました。鳴子の響きもぴったりとそろって心地よく、心に響き渡り、見ている方も背筋がピンとのびる感じがしました。

6年生「組体操 総力から今、結集のとき」

そして、最後は6年生！やっぱり浜の6年生はすごいです。浜小学校の体育大会のフィナーレを飾るにふさわしい演技でした。音楽と笛の音に合わせて、次々に技やダンスを繰り広げ、とても変化に富んでいました。みんなの目をくぎ付けにしました。そして、あちらこちらから「すご～い！」「きれい！」という声が聞こえてきました。

まさしく、6年生の総力が結集した組体操でした。

保護者の皆様、地域の皆様には、常日頃から、本校教育活動にご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年の体育大会も皆様の温かいご理解、ご支援があったからこそできたものだと思います。子ども達に対して、多くの励ましの言葉をいただき、様々な形で応援をしていただきました。本当に心より感謝申し上げます。特に今年の体育大会は、天気にも気を配り、悩まされた体育大会でした。体育大会前の数日は一日に何度も天気予報を見て過ごし、当日も夜中から何度もインターネット等で確認して実施することにしました。朝7時に実施を決めた後からも、雨が降り続くなど、本当に最後の最後まで悩ませてくれました。結局は、開会後は、天気も持ちこたえてくれて、無事体育大会を終えることができました。保護者の皆様や地域・関係機関の皆様のご理解に感謝いたします。ありがとうございました。

また、学校周辺の地域の方々には、放送等でずいぶんご迷惑をおかけしたと思います。お詫びとお礼を申し上げます。

《「人がやらないことを研究」「自分がやっていることをおもしろいと思うことが重要」 大隅良典氏》

10月3日（月）にビッグニュースが飛び込んできました。「大隅良典氏にノーベル医学生理学賞 授与決定！」というニュースでした。大隅氏は、この分野では、世界的に有名な研究者で、「オートファジー（自食作用）」と呼ばれる仕組みを解明されたそうです。

大隅氏の研究は、ノーベル賞という世界的にも大きく有名な賞とは逆に、その研究分野は基礎研究ともいわれる地道な研究だったようです。大隅氏は「顕微鏡と培養器くらいしかない実験室」というようなごく限られた環境の中で、いつも顕微鏡をのぞき、ひとりで研究に挑んでいたそうです。その顕微鏡の中から、ご本人が「思わず息をのむ瞬間」というような世界的に重要な観察をすることになりました。その研究が今では、アルツハイマー病やパーキンソン病、がんといった大きな病の治療につながる可能性があり、世界中で多くの研究が行われているそうです。

大隅氏は「小さいことでも世界で初めてと『わくわく』が科学の醍醐味だ」と語り、「人がやらないことを研究しようと思った。」そうです。そして「自分のやっていることが面白いと思うことが重要だ。」と若い研究者に助言しているそうです。強い信念と地道な研究が、世界の人々を救う礎となり、大きく輝こうとしています。本当に素晴らしいことだと思います。（校長 中根 孝介）

